



認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭を  
ご支援ください [www.yidff.jp/support/](http://www.yidff.jp/support/)



映画祭や上映会、映像教育・支援活動、アーカイブ活動の継続、新しい事業へのチャレンジをご支援ください。ドキュメンタリー映画祭と、それを支える山形の映像文化を豊かにする活動を維持していくため、皆様からのご寄付や会員ご入会での一層のお力添えを賜りたく、よろしくお願いいたします。

### 本法人へのご入会について

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭を継続的に支援して下さる方のための会員制度です。会員期限はどちらも4/1-3/31です。

	総会での議決権	寄付金控除	会費(1口)
正会員(個人)	あり	なし	10,000円
賛助会員(個人)	なし	あり	5,000円

### ご寄付も受け付けております

山形国際ドキュメンタリー映画祭は「認定NPO法人」です。認定NPO法人に寄せられた寄付金には、寄付金控除が講じられ、寄付を行なう側、受ける側、双方に有利になります。詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。

「ダストー塵ー」(5.15 金曜上映会)

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー  
金曜上映会  
イベントレポート  
ほか

[www.yidff.jp](http://www.yidff.jp)

4 Apr.  
May  
2026

## 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 金曜上映会

4.17 金 Fri  
〈上映作品未定〉

### 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

これまでに山形国際ドキュメンタリー映画祭に応募された20,000本以上の作品、311ドキュメンタリーフィルム・アーカイブ、山形市広報フィルムのデジタルライブラリーの作品を視聴することができます。また、金曜上映会や、子どもの映画教室を開催し、幅広い世代が映画に触れる機会を設けています。国内の非営利上映向けに作品の貸出も行っています。▶[www.yidff.jp/library/loans/](http://www.yidff.jp/library/loans/)

- 山形市平久保100 山形ビッグウイング3F
- 開館時間：10:00-17:00
- 休館日：月・火曜(祝日を除く)、年末年始
- 臨時休館はWebサイトでお知らせします。
- 電話：023-635-3015



認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭が主催する定期上映会です。

**会場：山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 試写室**

山形市平久保100 山形国際交流プラザ(ビッグウイング)3階

**鑑賞会員無料**(当日受付にてご入会ください)

会費・入会金不要(本法人「正会員・賛助会員」制度とは別です)。

5.15 金 Fri  
〈ハルトムート・ビトムスキー監督を偲ぶ〉  
▶14:00, 19:00(2回上映)  
ダストー塵ー

YIDFF 2009 インターナショナル・コンペティション

監督：ハルトムート・ビトムスキー  
ドイツ、スイス/2007/35mm/94分



プロジェクターや部屋にたまる埃、鉱山に舞う粉塵、工場で製造される顔料の微粒子、雨に洗い流される樹木に堆積した塵、9.11に起こった世界貿易センタービルの崩壊やミサイルの爆発で巻き起こる凄まじい粉塵の嵐、あるいは宇宙のスターダスト……。世界に充満するさまざまな塵の様相を、技術者や科学者の考察を交えて観察していく。



#### ハルトムート・ビトムスキー

1942年生まれ。1973年から10年以上、名高いドイツの雑誌『Filmkritik』の共同発行者および共同編集者を務め、映画理論や映画史について幅広い文筆活動をしてきた。1975年、映画製作会社ビッグ・スカイ・フィルムを設立し、40本以上の映画を監督、プロデュース。1987年には、『第三帝国アウトバーン』でグリム賞金賞を受賞。1975年からはミュンヘンの映画学校、ベルリン自由大学、ベルリン映画アカデミーで教鞭をとる。1993年から2002年までロサンゼルスのカリフォルニア芸術学院の映画学科長、2006年からはドイツ映画TVアカデミーの学長を務める。2000年にはウィーン国際映画祭で、彼の作品が回顧上映され、YIDFF 2001ではインターナショナル・コンペティションの審査員を務めた。本作は第64回ヴェネツィア国際映画祭オリゾンティ部門でも上映されている。2025年9月25日逝去。

## 311ドキュメンタリーフィルムアーカイブ [www.yidff311docs.jp](http://www.yidff311docs.jp)

東日本大震災の記録映画とその作品資料を蒐集・保存し、作品情報を世界に発信するプロジェクトです。登録作品は山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー内でご視聴いただけます。

# ご参加ありがとうございました！... イベントレポート

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー金曜上映会特別版  
+創造都市やまがた教養講座

## 土地から生まれるものがたりを巡って 映画 栗の森のものがたり

2月26日[木] やまがたクリエイティブシティセンター Q1 2-B



やまがたアーティスト・イン・レジデンスの招聘作家としてスロヴェニアから来県した、マリーナ・グムジさん(右)とグレゴル・ボジッチさん(中央)を迎え、お二人がプロデューサー、監督を務めた『栗の森のものがたり』上映会・トークイベントを開催しました。対談相手には、鶴岡を拠点に山伏・採集者として活躍する成瀬正憲さん(左)をお招きしました。

1950年代のスロヴェニア・イタリア国境地帯の小さな村を舞台にした、メランコリックな映像美が特徴的な本作。成瀬さんは、映画で描かれる寂しくも美しい自然は、植生は違いながらも、山形の景色にも通じるものがあると感想を述べました。マリーナさんは、舞台となった土地の静けさがとても印象的だったそうです。

戦後、大国に囲まれていたこの地域では、政治的関心に翻弄され、人々の暮らしが大きく変化しました。グレゴル監督は、そんななかで奪われつつある言葉や、土地に根付く寓話、死生観を織り交ぜながら作品を制作したといえます。

その他、スロヴェニアと山形の文化・歴史的な共通点など、山形でのイベントならではの話をたくさん伺えた、非常に実りあるイベントとなりました。お越しいただいた皆様、大変ありがとうございました。



## だいたい16かい 山形ドキュメンタリー フィルムライブラリー 子どもの映画教室

3月7日[土] 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

まずはフィルムライブラリーを探検。重たいフィルムを大きな映写機で回して、スクリーンに映画を映しました。フィルムを光にかざすと、たくさんのコマ(写真)が見えます。



探検を終えると、16mmフィルムを布用の染料で染めたり、絵の具を塗ったり、ペンで1コマずつ絵を描いたり、シールやセロファンを貼ったりして「映画フィルム」をつくりました。そして、みんなのフィルムをつないで、スクリーンに映しました。映写機を通った手描きフィルムはカラフルで不思議な映像になりました。描いた模様は音にもなるのです。みんなでつくった映画をみんなで楽しみました。またお会いしましょう!



▼記録動画はこちら (Vimeo)

vimeo.com/yidff/eigakkyoshitsu16



[参加者の感想より]

★小さい1コマ1コマ、絵をかいていくのがむずかしかったけど、楽しかったです。

★はげしかったことがおもしろかった。(スクリーンに映し出された模様や音がとてもダイナミックでしたね!)

★子どもの夢中になる姿や、積極的に関わる姿をみて、心が動いて、伸びていくうれしさを感じていました。(保護者の方より)



## 山形市広報フィルム デジタルライブラリー

懐かしいやまがた再発見



山形市創造都市推進協議会では、山形市が製作した広報フィルムをデジタル化し、「デジタルライブラリー」として公開しています。伊勢湾台風の被害、仙山線の電化など、昭和34年から37年までの「山形市のいま」を伝えた『山形市広報ニュース』、昭和29年からの合併で新たに「山形市」となった地域を色彩豊かに紹介する『のびゆく山形』などが山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーのビデオブースで無料でご覧いただけます。

山形市創造都市推進協議会 事務局  
山形市旅籠町 2-3-25 山形市文化スポーツ部文化創造都市課内  
Eメール: creative-yamagata@city.yamagata-yamagata.lg.jp  
電話: 023-641-1212 (内線 769)

Yamagata City of Film  
ユネスコ創造都市やまがた  
www.creative-yamagata.jp

@FilmYamagata



山形国際ドキュメンタリー映画祭の高校生チームです。いろいろな上映会やイベントを企画してみよう。メンバー募集中。

@Docuyama\_youth



監督インタビュー、上映会場でのボランティア、表彰式での市民賞プレゼンターなど、山形国際ドキュメンタリー映画祭2025でも活躍しました。

((山形国際ドキュメンタリー映画祭情報発信中))

@yidff\_8989 @yidff

メールマガジン「YIDFFニュース」(毎月1回配信)

www.yidff.jp/news/subscription ▶▶▶▶▶

コミュニティFM ラジオモンスター 76.2MHz『モンブラン』内



山形国際ドキュメンタリー映画祭  
情報マガジン



隔月発行の情報紙です。  
設置・配布にご協力いただける方は映画祭事務局↓にお知らせください!

次号発行は  
6月1日

編集・発行: 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭  
〒990-0044 山形市木の実町9-52 木の実マンション201  
電話: 023-666-4480 FAX: 023-625-4550  
Eメール: info@yidff.jp ウェブサイト: www.yidff.jp

## フィルムを捨てないで! 「懐かしい」を未来へ!

ご自宅や倉庫に眠っているフィルムはありませんか?

ホーム・ムービーや自治体の記録映像など、貴重なフィルムの多くがその新たな価値に気づかれず、不要なものとして処分されたり、劣化して二度と見られなくなってしまうという状況があります。

映写機がなくて見られない、何のフィルムか分からないなどありましたら、山形映画祭事務局(023-666-4480)にご相談下さい。